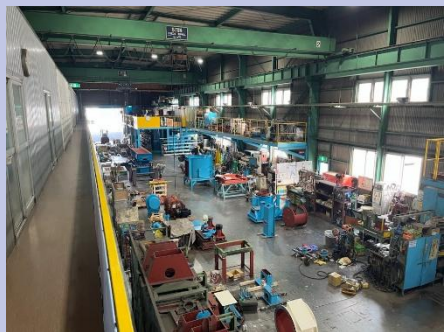




TML:太洋マシナリー(株) 本社工場

○本社所在地：大阪府大阪市

○事業概要：鋳物製造用設備機械、産業廃棄物選別機械、各種振動機の設計製造、ショットブラスト機の設計製造、各種粉体の空気輸送装置の設計製造、木質バイオマス発電・流動砂再生処理装置の製造販売

○常時使用する従業員：150名

(グループ全体・2024年11月期)

○現在の売上高：59.4億円

(グループ全体・2024年11月期)

○法人番号：6120001056619

○Web：https://www.omco-taiyo.co.jp

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



太洋マシナリー株式会社  
代表取締役 渡辺兼三

OMCOグループ 経営理念(共通) 太洋マシナリー(株)・太洋セツビ(株)・太洋プラント(株)・摂津機電(株)

私たちは、お客様に満足いただける仕事に努めます。

私たちは、高度の技術開発、高品質の商品を通じ社会に貢献します。

私たちは、少数精鋭主義と自己啓発を計り、社員生活の安定向上に努めます。

客先へ設備機械販売後はメンテナンス業務をサポートし、お客様からの「ありがとう」の回収を行う。モノづくり企業として、新技術を込めた商品の継続的開発・供給を行う。世界市場は提携会社を通じて機械製造・販売し、数ある企業の中から日本のモノづくり機械を選択肢の一つとして届ける。OMCOグループは、従業員さんにとって「働き甲斐があり、小さくても輝きのある会社」となる。また、各会社では、家族を連れて来て誇れる環境整備の整った工場を目指す。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

- ・2040年のグループ総売上を100億円の大台に乗せるために、売上成長率を、TML年3%、TSL年5%、TPL年5%、SET年3%をボトムラインとして目指す。
- ・新卒採用は怠らなく行う。
- ・他部署の経験がある人財育成100%を目指し、OMCOグループ全体で工場・営業所の環境整備に努める。

### 課題

売上成長率を確保する課題として  
TML；インド/南米大陸/南アフリカ大陸へ販売提携先の模索・構築  
TSL；人員の確保、資格取得、人財育成（メンテ技術の継承）  
TPL；老朽設備の更新、環境整備、人員の確保、人財育成  
SET；主要取引先の確保、資格取得制度の構築、備品の買替  
各グループ共通；会社間の人材交流、他部署経験の推奨

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・世界市場を狙いに行くことを成長戦略とし、各大陸で販売提携先の模索を強固に推進する。
- ・国内においては、設備投資で可能なIT化を促進し、ソフトなどの共通・共同利用でグループ相互の経費削減に努め、利益を確保し、技術開発側へ投資して成長を進める。
- ・M&A等の利用によるグループ成長の手段も決して否定せず、薄板板金・難削材加工など、現在保有していない技術の会社をグループに加えることも検討する。

### 実施体制

- ・JETROや日系海外税理士法人への提携先調査の依頼
- ・商社を活用して海外展示会への参加
- ・各社総務部門において、共通・共同ソフトウェアの利用
- ・管理部を設置して中期経営計画のPDCAの実施
- ・経営陣による各銀行や斡旋企業からのM&A情報収集
- ・工学会や協会等への貢献によるさらなる知名度の向上

売上高100億円実現への目標予定とグループ体制

【重点取り組み内容1】 環境整備による従業員さんの定着と意識向上  
従業員さんに「この会社で働いていてよかった!」と思える職場作りを行い、組織として100億を目指すベースを作る。

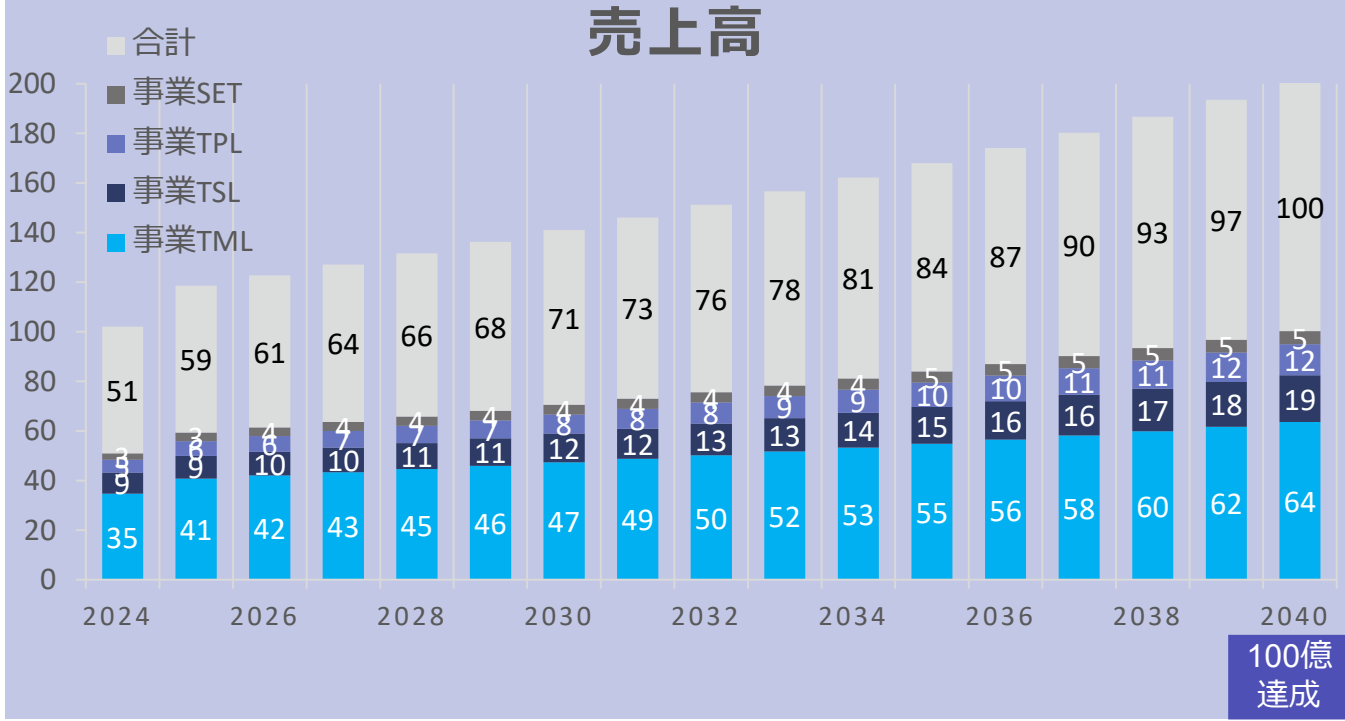
【重点取り組み内容2】 〔国内への発信〕 ⇄ 〔世界への発信〕  
TMLにおいて、日本国内では大阪トップランナー認定や素形材産業技術賞・中小企業長官賞を受賞した  
鋳物砂再生装置の再生効率・砂回収能力において、IoT技術と融合した技術で鋳造業の方には高評価を頂いている。  
この日本発の技術を世界の鋳造業を営む方々に選んでいただけるよう、情報を届ける。  
自己資本による海外進出ではなく、国内ではマザー工場を運営しながら、海外提携先を模索し、海外各国のローカル  
コストで一緒になって設備機械提供をしていただける企業の模索をおこなう。



環境整備事例1  
ミーティングルーム



環境整備事例2  
グループのPR



OMCOグループ 組織図

